



Donline

会社案内

COMPANY GUIDE

はじめに 会社紹介

ジェイオンラインは2002年に創業し、語学・教育分野のオンライン予約システムの開発を皮切りに、現在では関西・首都圏を中心に100社を超える事業者様・広告代理店のウェブ開発業務を行っております。



会社名	株式会社ジェイオンライン
代表者名	峯 修一
本社所在地	大阪府大阪市北区鶴野町1-9梅田ゲートタワー13F
電話番号	06-6484-7013
東京営業所	東京都港区南青山4-17-33グランカーサ南青山2F
創業	2002年3月1日
主な事業内容	ウェブシステム受託開発 予約システムパッケージ開発 ウェブサイト制作
資格情報	ISMS/ISO27001 プライバシーマーク



写真上：弊社大阪オフィスの風景です。
写真下左：弊社はPマーク取得企業です。
写真下中：弊社はISMS取得企業です。
写真下右：弊社は大阪府中小企業家同友会に加盟しています。

事業領域とミッション

ジェイオンラインの3つの事業領域



**業務分析の精度・制作物の品質・開発の効率化を追求し
お客様に最適なシステムを最適なコスト/納期で提供いたします。**

技術要素対応表 - 1 -

バックエンドフレームワーク・ライブラリ等

技術要素	対応状況
PHP Laravel	◎
Ruby on Rails	◎
JAVA	◎

サーバインフラ・DB等

技術要素	対応状況
Linux	◎
Apache	◎
nginx	○
MySQL	◎
Postgres	○
Node.js	◎
docker	○

フロントエンドフレームワーク・ライブラリ等

技術要素	対応状況
Vue.js	◎
React	○
JQuery	◎
Ajax/axios	◎
three.js	◎

◎…利用頻度が高く得意な技術

○…利用頻度は高くないが使用経験あり対応可能な技術

※記載のない技術についてもお問い合わせくださいませ。

技術要素対応表 - 2 -

WebAPI SDK

技術要素	対応状況
Stripe(クレカ・銀行振込決済)	◎
Paidy(コンビニ・後払い決済)	◎
GMO Payment(各種決済)	○
ZOOM(映像配信)	◎
Vimeo(ビデオストリーミング・映像配信)	◎
algolia(検索エンジン)	○
AmazonSES(メール配信)	◎

パッケージソフトカスタマイズ

技術要素	対応状況
MovableType	◎
Power CMS	◎
Wordpress	◎

技術要素対応表③

Amazon Web Service(主なもののみ)

技術要素	主な用途
Amazon S3	静的ウェブサイトのホスティング、ファイルストレージ
Amazon CloudFront	コンテンツ配信ネットワーク セキュリティ
Elastic Load Balancing	負荷分散 ルーティング SSL
Amazon EC2	ウェブサーバのホスティング
Amazon API Gateway	REST APIのエンドポイント
Amazon RDS	リレーショナルデータベースサービス
Amazon SQS	メッセージキューサービス
Amazon Cognito	ユーザー認証と管理
AWS IAM	アクセス管理とセキュリティ設定
AWS WAF	ウェブアプリケーションファイアウォール コアルールセットおよび独自ルールの設定
Amazon CloudWatch	ログの収集とモニタリング
AWS CloudTrail	APIコールのモニタリング

AWSの各種サービスを組み合わせて、最適なパフォーマンスが出せるインフラ構成を提案いたします。
また運用中のサービスのコスト最適化についてもご提案可能です。

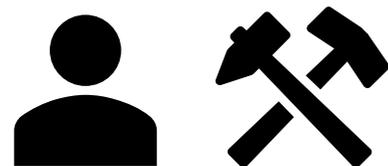
【セキュリティ】 対策のポイント

開発/運用保守フェーズそれぞれにおいて
セキュアなシステム運用のための対策を実施しています。

— 初期開発段階での対策ポイント —

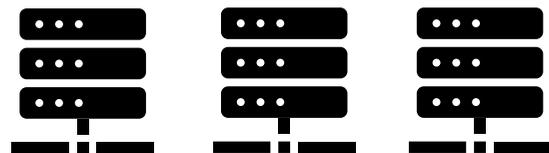
アプリケーション開発

IPA(経済産業省管轄)のセキュリティ
ガイドラインへの準拠をルール化して
います。



サーバ設計

主にAWSを活用してWAFやファイヤ
ウォール設定などを行い、サーバへの
直接攻撃の脅威に対応します。



第三者視点でのテスト

アプリケーション・サーバに対して
擬似的に不正アクセスを行い脆弱性の
有無をチェックするセキュリティ診断
テストを実施します。



— 運用フェーズでのポイント —

常時監視

セキュリティアップデート

インシデントへの即時対応

【セキュリティ】開発ガイドライン

ジェイオンラインではアプリケーション開発時にIPA(経済産業省管轄)のガイドラインへの準拠をルール化しています。

以下の対応策を中心に、案件の形態に応じて最適なセキュリティ設計を行います

IPAの対策要求項目	ジェイオンラインでの対策
1. SQLインジェクション	Laravelクエリビルダを使用し、PDOパラメータによるバインディングによって対策しています。
2. OSコマンド・インジェクション	外部からのリクエストに対して、 <code>exec()</code> 、 <code>passthru()</code> 、 <code>system()</code> をプログラムで使用しないルールとしています。特殊文字もエスケープ対応。
3. パス名パラメータの未チェック/ディレクトリ・トラバーサル	サーバ設定で適切なアクセス権限を設定。Laravel環境では画像やJS、CSSファイルなど、必要なファイル・ディレクトリのみ外部アクセス権限を与えるようにしています。
4. セッション管理の不備	Laravelのセッション管理を利用して対策しています。一例として、セッションIDを予測不能なものにしたり、セッションをURLパラメータに使用しない等が挙げられます。
5. クロスサイト・スクリプティング	特殊文字はあらかじめエスケープさせることで対応しています。
6. CSRF (クロスサイト・リクエスト・フォージェリ)	LaravelにてCSRFトークンを生成し、認証済みユーザーが実際にアプリケーションへリクエストを行っているユーザーであることを確認しています。
7. HTTPヘッダ・インジェクション	システムで使用するPHPはPHP7以上としており、対策済みの状態となっています。
8. メールヘッダ・インジェクション	外部からの入力をメールヘッダに埋め込む処理を行わないルールとしています。外部からの入力はすべて本文として出力されます。
9. クリックジャッキング	X-Frame-Optionsヘッダフィールドを出力して対応しています。
10. バッファオーバーフロー	直接メモリ操作出来ない言語(PHP等)での記述をルール化しています。また、バッファオーバーフロー脆弱性が見つかったライブラリは迅速にアップデートするなど、脆弱性対策も取っております。
11. アクセス制御や認可制御の欠落	ユーザーごとに各種権限を細かく調整の上アクセス制御を行っています。ログインにおきましても、メールアドレス認証、強度の高いパスワードの強制など、各フェーズごとに制御を行っています。

【セキュリティ】セキュリティテスト

エンジニア自身でのテストに加えて外部ツール等を利用した
第三者目線でのセキュリティ検査を実施しています。

自社内でのツール診断

第三者機関が提供するツール“Vaddy”(※1)を利用して、
弊社内でテストを実施します。システムの環境の安全性
を評価するための有効な手段となります。

網羅的な診断:

既知の脆弱性データベースをもとに、あらゆる種類の脆弱性を探
し出します。

詳細なレポート:

脆弱性の種類、影響度、修正方法などを詳細に説明します。



※1)Vaddyは大手企業・官公庁にも導入実績豊富な脆弱性診断サ
ービスです。

<https://vaddy.net/ja/>

外部機関による診断

専門家があなたのシステムやネットワークを詳細に調
査し、脆弱性を特定するものです。このサービスは、
より専門的な視点からの評価を得ることができ、高度
なセキュリティニーズに対応することができます。



【セキュリティ】資格情報

ISMS(ISO/IEC 27001:2022)およびプライバシーマーク(20002677(01))を取得しており、厳しいセキュリティ要件を求められるプロジェクトを完遂しています。



GIJP-1141-IC

ISO/IEC 27001:2022



20002677(01)